

謹賀新年

新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆さまに
おかれましては、気持ちも新
年に新年をお迎えのことと思
います。

さて、昨年は世界的なコロ
ナ禍の状況は落ち着いたもの
の、ウクライナでの戦況が長
期化し膠着状態となる中、10
月には中東のガザ地区におけ
るパレスチナとイスラエル間
の紛争が勃発。悲惨な状況が
続き、世界的な対立や分断が
深まるなど、文字通り「激動と
混乱」の一年となりました。

我が国ではWBCでの日本
チーム優勝や大谷翔平選手の
活躍、藤井聡太八冠の誕生な
ど明るい話題も誕生しました。
本市の昨年を振り返ると、
菊池一族関連の史跡群が国史
跡に答申されるといふ、うれ
しいニュースがありました。

日常の暮らしが戻るにつれ
て祭りや行事が再開。特に市
ふるさと創生市民広場の盆踊
りや年末のイルミネーション
のような市民発の新しいイベ
ントが定着しました。その中
でもダムフェスタなどの地域
の取り組みは全国の好事例と
して表彰されることとなりま
した。子ども議会で中学生が

提案したSDGsフェステイ
バルが学校や企業・市民団体
の協力によって実現するなど、
市民力が発揮された一年であ
りました。経済面では、TSMC
の工場が立ち上がることも
に本市にも工場や住宅用地を
求める動きが加速しました。

本年にはいよいよTSMC
の稼働が始まり、これを契機
に菊池地域は急速に変化して
いくことが予想されます。特
に本市にとっては住宅を促進
することで、人口増加に転ず
る可能性のある大きなチャン
スの到来です。優良な農地を
確保しつつ、中長期的に農・商
工のバランスの取れた発展を
目指してまいります。

また、工場集積地帯から最
も近い温泉地としての特性を
生かし、関連企業の従業員・家
族の奥座敷として、癒やしの
場を提供する菊池らしい観光
地づくりを進めていきます。
これまでの温泉・食・歴史文化・
健康を軸に据えながら、外
国人観光客を積極的に取り込
んでいきます。

令和6年度は合併による市
誕生20周年を迎えます(令和7
年3月)。この間、熊本地震や
コロナ禍をはじめ多くの困難
を乗り越えてまいりました。
また、コロナ禍で中止して
いた常任委員会での行政視察
を4年ぶりに再開。総務文教
常任委員会は「公共施設再配
置計画等」、福祉厚生常任委員
会は「健康診断の受診率向上
に関する取り組み等」、経済建
設常任委員会は「有害鳥獣の
処理等」について先進地の行
政視察を行いました。今後は、
視察したことを参考に市政発
展のため役立てていきます。

さらに、TSMCの菊陽町
進出を本市経済の活性化につ
なげるため、定期的に協議会
を開催。執行部の取り組み内
容の把握や現地視察を行いな
がら議論を重ねています。今
後は、地域の潜在的な課題や
機会を特定し、地域の発展に
寄与するよう提言をまとめて
行きたいと考えています。

地方分権が進み、急速な社
会経済の変化が広がる中で、
議会の役割と責任が拡大して
おり、多様化する民意を的確
に反映・集約することが求めら
れています。現在、市政の透明
性を高め、共同で解決すべき



や課題に直面してきましたが、
その都度乗り越えてきた原動
力は市民の団結力です。新し
い年を迎え、国内外とも一層
見通しのきかない情勢が続
きますが、本市の持つ自然力・市
民力・文化力に自信を持って、
一致団結して立ち向かってい
こうではありませんか。
約950年前、菊池一族が
この地に居を構える契機と
なった白龍伝説が残っていま
す。今年が辰年。この新しい年
が昇り竜のごとく上に向かって
進んでいくことを願ってい
ます。
皆さまにとりまして、本年が
健康で安心に満ちた明るい一
年になりますよう祈念申し上
げ、年頭のごあいさつとさせて
いただきます。

令和6年 元旦
菊池市長 江頭 実

チャンスを生かし、
一致団結で昇竜の年へ

菊池市長 江頭 実



課題を明確にするため、常任
委員会ごとに関係する各種団
体とテーマを決めた意見交換
会を行っています。参加者の
皆さまから得られた意見など
を踏まえ、今後の市の方針や
計画に具体的に反映できるよ
う努めていきます。
令和6年は「辰年」。「龍は縁
起の良いシンボルとして知ら
れ、勇気や繁栄をもたらす」と
されています。この力強いエ
ネルギーに励まされ、市民生
活が大きく向上する年になる
よう議会でも全力で取り組む
考えであります。
結びに、本年が市民の皆さ
まにとって健康で安心に満ち
た幸多き年となりますことを
祈念申し上げ、新年のごあい
さつとさせていただきます。

令和6年 元旦
菊池市議会議長 水上隆光

多様な住民が参画できる
議会を目指して

菊池市議会議長 水上 隆光